

## 第1回 上質な寄港地観光の造成に向けた意見交換会概要

### (プリンセス・クルーズ社)

- プリンセス・クルーズ社より、日本発着クルーズの現状とプリンセス・クルーズ社及び乗客が求めているものについて説明。
  - キーワードは「ローカル（地元）」。旅客は地元ならではの本物、有意義、個人的、特別感を求めている。
  - 寄港地ごとにローカルエキスパートが欲しい。プリンセス・クルーズがさまざまなアクティビティやツアーを計画し、その中身をローカルエキスパートが精査し、ツアーやアクティビティのプログラムを一緒につくり上げていきたい。
  - ローカルエキスパートの想定としては、各寄港地の地元のシェフ、料理人、醸造家、芸術家、職人などで、パートナーシップを構築し、ローカルな食事の提供、醸造所などの見学、日本に深く根付いた職人文化の体験を乗客に提供したい。
  
- 当日プレゼンテーションを行った各港（酒田港、四日市港、和歌山下津港、鹿児島港）からは歴史ある寺社仏閣の活用、郷土の特徴を活かした料理、クルーズ旅客に特化したイベントの開催、土地の歴史に精通したエキスパートナーによるガイドを用いるなどの寄港地観光プランについて提案がなされた。